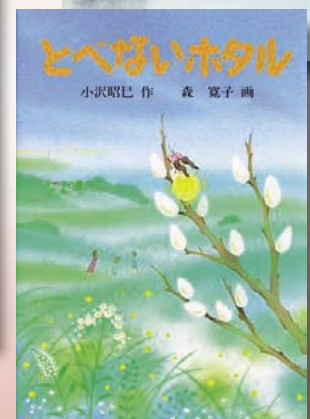
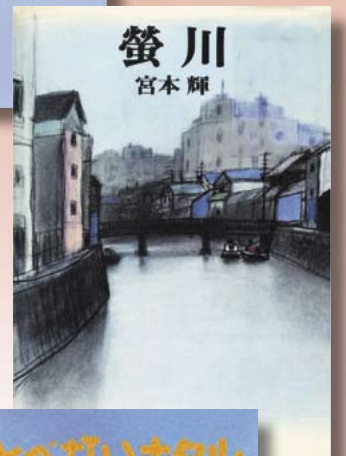


すすめたい ふるさと とやま 100冊の本



◆みなさんへ◆

富山県教育委員会

教育長 東野 宗朗

このブックリストは、「友だちにす
めたい本、読んでみたい本」を県内
の児童生徒のみなさんや先生方から
も推薦していただき、それをもとに
百冊を選んだものです。

本書を手がかりに、みなさんが読書
活動を深めること、自分とふるさと、
そしてこれからの人生について考え
ることを心から願っています。

◆発刊に寄せて◆

富山県知事 石井 隆一

富山県では、現在、県民あげて、ふ
るさと教育を推進しております。国
民読書年を記念したこの「すめたい
いふるさと」とやま100冊の本」の
発刊は、まことに喜ばしいことです。

ふるさと文学は、富山の魅力や先
人の知恵を知り、郷土への誇りを持
つことで、大きく変化する時代を生
きるための心のよりどころとなるも
のです。

本書を通じて、みなさんがふるさと
と富山への理解を深め、未来に向かっ
て大きく羽ばたいていただくことを
期待しております。

カモシカとしよかん

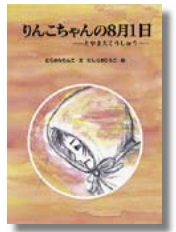
魚瀬ゆう子 文 水上悦子 絵
桂書房



ニホンカモシカの
カーモ君が、楽しそ
うな子どもたちの
様子を見て図書館へ
やってきました。

りんごちゃんの8月1日

むらかみりんご 文 にしじまひろこ 絵
若草書房



一九四五年、富山
市は空襲を受け、四
才のりんごちゃんも
逃げまわりました。

くるべのツンコぎつね

大割輝明 文 井口文秀 絵
小峰書店



狸師がつれてき
た子ぎつねと、幼い
息子や家族とのふれ
あいを描きます。

ほむら色の空

前野時子 文 桂書房



両親と七人兄弟の
にぎやかな暮らしを
一夜にしてうばった
富山大空襲のお話で
す。

このブックリストについて

● 小学生編四十冊、中学生編十六冊、中学・高校生共通編二十八冊、高校生編十六冊、あわせて百冊の本が紹介されています。また小学生編は、低学年十冊、中学年十六冊、高学年十四冊に分けてあります。

● 本の種類は 絵本・読み物・詩・歌・知識 の四種類に分けています。

● 推薦が多かった本を中心に、ブックリストの表紙に載せました。

● 現在出版されていない本には、印をつけてあります。これらの本をご覧になる方は、学校の図書館や最寄りの市町村図書館などでご相談ください。

空気がなくなる日

岩倉政治 文 二俣英五郎 絵
ポプラ社



空気が無くなると
大さわぎの中、地主
の息子がタイヤの
チューブを体に巻い
て、学校へやってきました。

みしま野の白いとり

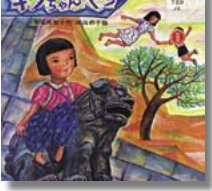
小沢昭巳 文 みずかみえつこ 絵
大島町



昔、都の王子様のた
めに白鳥を追いかけた
きた家は、とうとう
富山までやってきました。
大島町絵本館開
館記念出版絵本です。

キクちゃんのくつ

平尾美智子 文 織茂恭子 絵
桂書房



三つ年上の大好き
なキクちゃん。空襲
の翌朝、私は、キク
ちゃんのくつを見つ
けました。

コーリヤよはばだけ

井口文秀 文 絵
童心社



毎年の冬、シベリ
アから四千キロメー
トルを飛んで富山へ
やってくる白鳥のお
話です。

ライチョウは生きる

遠藤和子 文 井口文秀 絵
小峰書店



大昔から立山に住
むライチョウの暮
らしを、春から冬へ
一年を通して描きま
す。

らいちょうと立山ののりもの

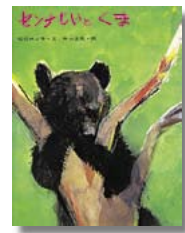
羽田竹美 文 伊藤悌夫 絵
岩崎書店



立山黒部アルペン
ルートを、乗り物と
美しい景色やライ
チョウを交えて紹介
します。

センナじいとくま

松合みよ子／文 井口文秀／絵



黒部の名猟師センナじいは、撃ち殺した母熊が連れていた子熊を育てるのですが、別の時がきます。

読みがたり富山のむかし話

富山県児童文学研究会



富山県に伝わる昔話から六十六話を選び、方言で語ります。

ウオツのしんきろう

濱口駿介、浜口節子／文 ほんまさえ／絵



新湊に住むはまちゃん一家の暮らし。キトキトの魚、海王丸、ほたるいか、しんきろう…。

草刈り十字軍

足立原先生とわかものたち



農業の空中散布に反対して、人の力で草刈りを始めたボランティアの若者たちのお話です。

ちよあちゃんとパパとだまし川

大成勝代／文 小泉ちよあ／絵



だまし川にはカッパがいる？福光に住んでいた版画家棟方志功と娘のちよあちゃんの思い出話です。

龍の眠っている山

桐谷正／著 海越出版社



八尾町の大切なニシの大木に雷が落ちた時、井田川から龍が現れました。

クロベのトロッコ電車

浜口駿介、浜口節子／文 ほんまさえ／絵



はまちゃんは、東京から来たゆうた君と、雨晴海岸で海水浴をしたりトロッコ電車に乗ったり楽しい夏休みを過ごします。

カルデラの赤電話

吉友嘉久子／文 渡辺あきお／絵



立山カルデラの土砂災害を防ぐため、長い間たくさんの人たちが力を尽くしてきました。

とべないホタル

小沢昭巳／文 森寛子／絵



羽が曲がって飛べないホタルを他のなかまたちが優しくかばう心温まるお話です。シリーズあり。

チューリップが咲いた

メルヘンの花を咲かせた水野豊造



砺波で初めてチューリップを栽培し、地域へ広めた水野豊造さんのお話です。

立山のライチョウ

浜口駿介、浜口節子／文 ほんまさえ／絵



はまちゃんたちは、立山へ登ってライチョウを見にいきます。ケーブルカーやゴンドラにも乗りました。

イラストでつづるとやまのれきし

アド・パルス



原始時代から現代まで、とやまの暮らしをわかりやすいイラストで紹介しました。

童話 つららの坊や

青木新門／著 桂書房



雪深い合掌造りの軒先で生まれたつららの坊やを通して、子どもたちに命を語る本です。

まぼろしの木橋

かつおきんや／文 梶山俊夫／絵



親子で黒部川の愛本橋などを調べて、橋と郷土の歴史に迫っていくお話です。

風の盆の町

松浦ともし／文 福田岩緒／絵



東京から八尾に引っ越してきた夏美は、おわら囃りの練習を通じて町になじんでいきます。

ライチョウ

高橋敬市／写真 偕成社



富山県の県鳥ライチョウをたくさんの写真とともにわかりやすく解説します。

オロロのいる村

遠藤和子／著



あすなろ書房
福光の山奥の分校にやってきた若い女先生は、人の血を吸うオロロに襲われま

読み物

ほたる先生ととべないホタルたち

綾野まさる／文 平林いずみ／絵 ハート出版



「とべないホタル」を書いた小沢先生の、ちよつと変わった、でも楽しい新人先生時代を描きます。

読み物

とやまの民話 第一集 第二集

石崎直義 著



「不思議ななし」「動物たちのなし」「大蛇と龍の話」「笑い話」「だらとんちの話」など六十八のお話(一) 二冊セット

読み物

富山の昔話

石黒美生子／著



「花の巻」「月の巻」「雪の巻」「風の巻」に分け、方言で語る七十七のお話です。

読み物

富山の伝説

富山県児童文学研究会／著



「立山・黒部」「自然物」「動物」「二寺社や僧」「人々」それぞれにまつわる八十六の伝説が紹介されています。

読み物

おはなしはともだち 富山のメルヘン

尾島さき枝／文 河内ゆづ子／絵



富山に生まれ育った作者が語る民話や創作童話二十五話です。

読み物

富山の童話

日本児童文学者協会／編



富山の児童文学作家たちが語る、ふるさとを舞台とした物語十八話と詩五編です。

読み物

あざみの歌

山本なおこ／文 安和子／絵



昭和三十年代、入院中の母を思いながら父や祖母と暮す朝子と幸子の姉妹の話です。

読み物

日本の子ども詩十六富山

日本作文の会



富山県の小中学生の詩を戦前から一九七〇年代まで、年代順に並べた詩集です。

詩・歌

藤子・F・不二雄

黒沢哲也／シナリオ さいとうはるむ／まんが



高岡市出身で、世界中の子どもたちに愛される「ドラえもん」などを描いた漫画家の伝記です。

知識

理科室から生まれたノーベル賞

田中耕一ものがたり 国松俊英／文 藤本四郎／絵

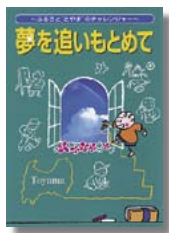


富山市出身でノーベル賞を受けた田中さんの生い立ちから受賞までを描きます。

知識

夢を追いもとめて

富山県立大学／編

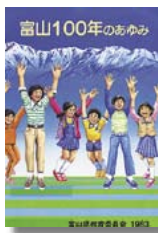


富山県出身で様々な分野で活躍した二十九人の人々を紹介しています。

知識

富山100年のあゆみ

富山県教育委員会／編



富山県が県として誕生した明治十六年からの出来事や暮らしを多くの写真を交えて解説します。

知識

ビジュアルワイド 新日本風土記十六 富山県

市川健夫／監修



富山県の自然と地形、歴史と事件、産業と経済、生活と文化、人物などを紹介します。

知識



飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ **読み物**

井村和清 / 著 祥伝社



不治の病に冒された砺波市出身の若き医師が家族や周囲への愛情を深めてゆく手記。妻による新たな原稿を加えた新装版です。

八月二日、天まで焼けた **読み物**

奥田史郎 中山伊佐男 / 著 高校生文化研究会



富山大空襲で母を失い、その遺体を焼くというつらい体験をした中学一年生と高校一年生の手記です。

長い道 **読み物**

柏原兵三 / 著 桂書房



戦時中入善町の叔父の家に疎開した少年の苦しい体験と成長を描きます。映画「少年時代」の原作です。

日本の伝説二十四 富山の伝説 **読み物**

辺見じゅん他 / 著 角川学芸出版



ふるさとの伝説の舞台を訪ねる紀行文二十四編と、辺見じゅん氏による十五編の伝説を集録しました。

黒部の太陽 **読み物**

木本正次 / 著 新潮社



世紀の難工事、黒部川第四ダム建設にかける人々の情熱と苦闘を描いた小説。映画化、テレビドラママ化されました。

死の川とたたかう **読み物**

八田清信 / 著 偕成社



イタイイタイ病の原因を鉱毒と考え、困難に打ち勝ち、患者のために一生を捧げた萩野昇医師の物語です。

越中の民話 第一集・第二集 **読み物 筆集のみ**

伊藤隆寛他 / 編 未来社



富山の民俗学者が多年にわたって採集したふるさとの民話、百八十話です。第一集は懐かしい富山弁で語り、わらべ歌もあります。

山から声が降ってくる **読み物**

かつおきんや / 著 偕成社



五箇山の衆が井波の商家を打ち壊した「安政の騒動」のさなか、十三歳の太次郎の成長を描きます。

日本の山に生きた人々 **読み物**

安川茂雄 / 著 さ・えら書房



「佐々成政」「播隆上人」「立山のガイドたち」など富山や北アルプスにゆかりの人々の生き方が分かる伝記です。

虹のたつ峰をこえて **読み物**

新開ゆり子 / 著 アリス館牧新社



大飢饉で多くの民を失った相馬中村藩へ、北陸の農民たちが五箇山をこえて移住した歴史を描きます。

絵草紙 越中の家持 **詩・歌**

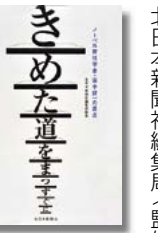
北日本新聞社 / 編 北日本新聞社



大伴家持の越中国司赴任千二百五十年を機に、ビジュアルマガジン風に仕立てた「目で見る」越中万葉の入門書。

きめた道をまっすぐに **知識**

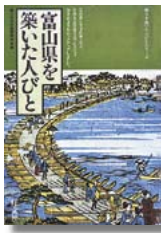
ノーベル賞化学者田中耕一の原点 北日本新聞社編集局 / 監修 北日本新聞社



ノーベル賞受賞の田中耕一さんの生い立ち、人生の足跡や、その業績を綿密な取材でまとめました。

富山県を築いた人びと **知識**

富山社会科教育研究会 / 編 旺文社



古代から現代まで、富山の歴史を動かし大きな影響を残した五十三名の生涯を描きます。

ノーベル化学賞 「田中耕一さん」の研究 **知識**

フレア情報研究会 / 編 第三書館



富山市出身のノーベル賞受賞者田中耕一さんの研究内容など人柄とともに紹介します。

剣岳へ点の記

新田次郎 著



文春文庫刊

日本地図を完成させるため困難な山岳測量に取り組んだ、人々の不屈の闘志や友情の素晴らしさを描く。日本人がなくてはならないものを問いかけた名著。

螢川

宮本輝 著



筑摩書房

昭和三十年代の富山県を舞台に、経済的に苦しい中で、少年の恋の目ざめと人間の成長を描く。小説末尾の螢の乱舞する情景は圧巻。芥川賞を受賞。

九転十起の男

新田純子 著



毎日ワンス

現在の氷見市に生まれ、京浜工業地帯の生みの親と呼ばれる明治の起業家、浅野総一郎の、七転び八起きならぬ、まさに「九転十起」の波乱の人生を描く。

時を呼ぶ声

久世光彦 著



立風書房

五つの小学校を転々とした少年期、富山市の空襲の夜の恐ろしいほどの美しさ、父の晩年、歌や映画への傾倒など演出家・作家の原風景を描く名エッセイ。

崩れ

幸田文 著



講談社

日本各地の山々の崩壊と砂防工事を綴る。立山カルデラの凄絶な描写と人情が印象的。孫の青木奈緒「動くとき動くもの」は同じ道をたどっており、あわせて読みたい。

越中讃歌

北日本新聞社 編



北日本新聞社

山と水がはぐくんだ土地、越中富山ゆかりの文化人が、愛してやまない、ひと町・自然・味・くらし・歴史を語る。珠玉のエッセイ集。

ふるさと文学館第二〇巻

八木光昭 編



ぎょうせい

横山源之助の書いた富山県初の小説、大正から昭和にかけて活躍した小寺菊子の作品、大井冷光の童話など、貴重な小説・詩歌・随筆・童話等が収められている。珠玉の作品集。

キトキトの魚

室井滋 著



文藝春秋

とやま井の「キトキトの魚」のように元気で健気な少女時代、自信過剰な一人っ子時代、事件を呼ぶ女と呼ばれた青春時代。女優として活躍する筆者の面白く、切ないエッセイ。

花子のくいの歳時記

辺見じゅん 著



講談社

水橋の祖父母のもとで育った著者が、民話の心の足跡をたどる。各地で民話の語り手と出会い、四季の美しさと人間の営みを暖かく描き出すエッセイ集。

鶴のいた庭

堀田善衛 著



講談社

二羽の鶴に託し、作者の実家、高岡市伏木の廻船問屋が没落するさまを望楼にたたまむ老人の死とともに印象的に描く作品。本書に集録。

風のまにまに

岩倉政治 著 盤若一郎 絵



富山新聞社

蓮如上人の越中の足跡をたずねる旅。ユーモアのある文が楽しい。作者ゆかりの福野や井波などでの青春時代の思い出も描かれる。

翼を持ったお巡りさん

谷口凱夫 著



山と溪谷社

山岳遭難救助の七割でヘリコプターが活躍。日本有数の富山県警山岳警備隊の元隊長が編んだヘリ・レスキューのドキュメント。

漂民次郎吉

津田文平 著

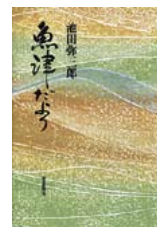


福村出版

江戸時代、岩瀬の北前長者丸が難破。越中の船乗りたちが、ロシアやアラスカでの厳しい生活をたくましく生き抜いた物語。

魚津だより

池田弥三郎 著



毎日新聞社

銀座に育った生粋の江戸っ子の教授が魚津に住み、日本海の文化について考え、新しい視点から富山を描いた随筆集。筆者の遺作でもある。

越中万葉百科

高岡市万葉歴史館 編



笠間書院

大伴家持ほか越中赴任中に詠んだ歌三百三十七首の「越中万葉」を、一冊にまとめた。それぞれに解説を加えた。北陸で花開いた、大伴家持の歌作りの心に迫る。

詩集 雪道

青木新門 著



桂書房

雪国に生きるこのの意味に、新しい光をあて、深い智慧とともに感動を誘う詩集。何度でも朗読して味わいたい。

富山なぞ食探検

読売新聞富山支局／編

桂書房



雑煮に焼魚が入るのはどう? 新年に食べるのは? 六十六の郷土食一つ一つにプロフィール・シヨナルのいることを紹介します。

富山湾を科学する

富山県水産試験場／編

北日本新聞社



数千年をかけて地球を巡る深層水が流れ込む、神秘の海、富山湾の海洋構造や漁場環境、魚の生態などを詳しくビジュアルで紹介。

山に入って草を刈ろう
草刈り十字軍十七年の軌跡

足立原貴／著

朝日新聞社



富山へ、日本各地から外国からも若者たちが集まる。森林と水源を守るため、除草剤散布を止め、造林地の下草刈りを始めた人たちの苦難と感動の物語。

富山廃線紀行

草卓人／著

桂書房



汽笛の音が消えて幾十年、あちこちに郷愁をよぶ鉄道の跡。立山鉄橋・富岩線・射水線・笹津線・加越線など十九廃線の歴史とその痕跡を訪ねる。

史伝 佐々成政

遠藤和子／著

学習研究社



加賀藩が意図的に作り上げた虚像を退け、人々に慕われた名君、情義に篤い佐々成政を描く。十年もの実地検証と研究で、歴史解釈に大きな一石を投じた名著。

越中流

北日本新聞社編集局／編

北日本新聞社



越中人の進取の気性「勤勉」「不屈の精神」が未来に向かって花開く! 越中の心を、産業やちらしの中に見る。

海の懸け橋 昆布ロードと越中

北日本新聞社編集局／編

北日本新聞社



北海道から大阪、九州、沖縄、大陸まで。江戸期から越中を拠点とした昆布の道と北前船、それを推進した富山売薬のたくましい行動力を記者が追う。

とやま面白学・富山の自然再発見

とやま面白学企画編集会／編

北日本新聞社



身近な富山の自然に潜む不思議を解き明かす。世界的にも珍しいいくつもの富山の謎が、あなたの眼前に。植物、動物、地学、気象編を学芸員、研究員が解説。

瑞泉寺と門前町井波

千秋謙治／著

桂書房



異国文書を解読した上人からはじまる瑞泉寺の縁起、土皇の抜け穴を敵に教えてしまったおばあさん、越中でただ一人の芭蕉の最後の門人浪化々々、史話百題。

江戸時代人づくり風土記 十六
ふるさとの人と知恵 富山

加藤秀俊他／編

北日本新聞社



農山漁村文化協会 江戸時代の富山の暮らしと人物を描き、売薬や寺子屋が果たした役割を分かりやすく解明。ふるさとの歴史をいきいきと伝える。

大人になる前につけてほしいこと

坂東眞理子／著

PHP研究所

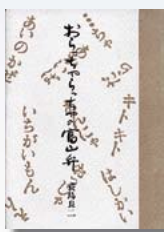


積極的な心の持ち方を身につけてすてきな「大人」になってほしい。富山県出身でベストセラー「女性の品格」の著者が、若い世代に送るメッセージ。

おらっちゃんらっちゃんの富山弁

養島良一／著

北日本新聞社



富山の方言の語源を古語からも考察し、身近な生活文化から適切な会話や文例を挙げて説明。

2010 国民読書年

平成二十二年(二〇一〇)年、国民読書年の今年は、国全体で活字や文字文化の振興、読書活動の推進などを目指すこととしています。

ロコマークは、本や新聞の向こうにある知の世界や無限の感動の世界に夢中になっている目をイメージしたものです。

越中文学館

北日本新聞社

たくさん富山ゆかりの文学作品を紹介している本です。作品のポイントや作者の人物、舞台となった場所などが写真とともに紹介されており、富山の文学を幅広く知りたい人にはよいガイドブックとなるでしょう。

絵本っておもしろい!

富山県教育委員会が国民読書年に合わせて、初めて読み聞かせをする人のために作成した絵本リストです。0歳から小学校低学年向けの百冊の絵本の表紙や作者名、解説などを掲載するとともに、読み聞かせのアドバイスも記してあります。

図書館の人たちが選んだ赤ちゃんからの読み聞かせ絵本リスト



富山県教育委員会が国民読書年に合わせて、初めて読み聞かせをする人のために作成した絵本リストです。0歳から小学校低学年向けの百冊の絵本の表紙や作者名、解説などを掲載するとともに、読み聞かせのアドバイスも記してあります。

納棺夫日記

青木新門／著

桂書房



人の死に絶えず接し、生をみつめてきた著者の静かなる声が残るロングセラーとなった。詩と童話を付した定本。

青桐

木崎さと子／著

文藝春秋



治療をこぼみ死を受容する叔母とその姿を見つめた主人公に訪れたものとは。滅びる肉体と蘇る心の交叉を描く芥川賞受賞作品。

高熱隧道

吉村昭／著

新潮社



黒部川第三発電所の工事を技師の目から描いた小説。犠牲者の多さから富山県警察部が中止命令を出すか、戦前の国策から続けられた難工事を描く。

街道をゆく四

司馬遼太郎／著

朝日新聞出版

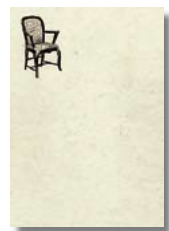


白川郷、五箇山を北上し、富山に向かう作家。自然の姿や人情の機微に感動し、赤尾道宗の生き方などに思索を深める。

若き日の詩人たちの肖像

堀田善衛／著

集英社



高岡市伏木の廻船問屋に生まれた少年が、上京し、就職、徴兵を受けるまでを描く。堀田善衛の青春時代を描く自伝的小説。

漂流

山田和／著

文藝春秋



庄川峡谷の美しく厳しい自然背景に、ダム建設を進める電力会社と流木権を主張する木材会社の闘争。運命に翻弄される主人公の愛を描いた長編小説。

転生回廊 聖地カイラス巡礼

青木新門／著

寺田周明／写真



不思議な光に誘われて、たどり着いた聖地カイラス。そこはまさに天上の秘境。死が垣間見える聖地で作者の二人が体験した非日常の世界。

陽が昇るとき

木々康子／著

筑摩書房

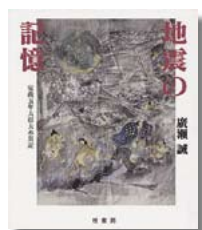


高岡市出身で、日本美術をフランスで紹介し、印象派を日本人に教えた美術商、林忠正と、法律家、磯部四郎が、若き日にパリで学び、理想を追求する生き方を描く。

地震の記憶

廣瀬誠／著

桂書房



一八五八年二月二十六日未明、大地震に襲われた越中。眠りを覚まされた人々。家屋倒壊や液状化噴出など数十の証言を古文獻から克明に解明。

漂民宇三郎

井伏鱒二／著

筑摩書房



江戸時代の岩瀬の長者丸の漂流と救助、ハワイ、カムチャッカなどを経て日本に帰るまでの困難と、ハワイに留まった宇三郎を描く。日本文学の名作。

ダモイ遙かに

辺見じゅん／著

メディアパル



シベリア収容所に抑留された七十余の日本人。過酷な環境の中で、最後まで希望を捨てず、命をかけた仲間たちの物語。

生涯最高の失敗

田中耕一／著

朝日新聞出版



ノーベル化学賞を受賞した田中耕一さんが誠実な言葉で、子ども頃の家庭の思い出やエンジニアとしての人生を語る。

沈黙の森

北日本新聞社編集局／編

北日本新聞社



民家を襲ったツキノワグマによる人身事故を発端に、山や森を進みつつある自然の荒廃を探る。二〇〇五年石橋温山記念早稲田ジャーナリズム大賞受賞作品。

ルメイ・最後の空襲

中山伊佐男／著

桂書房



富山空襲で母と妹を失った当時中学生の著者が、膨大な米軍作戦任務報告書を読み解いた。無差別爆撃の全容が明らかに。

立山・黒部未来への道

北日本新聞社編集局／編

北日本新聞社



二年にわたる綿密な取材をもとに未来へ提言する本。聖地・立山連峰をいかに守り、次世代に伝えていくべきか。

新編 山と溪谷

田部重治／著

岩波書店



「山が自分の一部であり、自分が山の一部」といふふうな心持になる。数多くの読者を山に誘った山岳文学の古典といふべき随筆・紀行文集から精選。

「すずめたいふるさととよまー100冊の本」

発行年月 平成二十一年七月
編集協力 富山県学校図書館協議会

発行 富山県教育委員会

富山県とも読書活動推進会議
本書は富山県のホームページでご覧いただけます。

http://www.pref.toyama.lg.jp/cms_sec/3009/k100008053.html